

研究開発組織におけるコンセプト創造方法論の開発

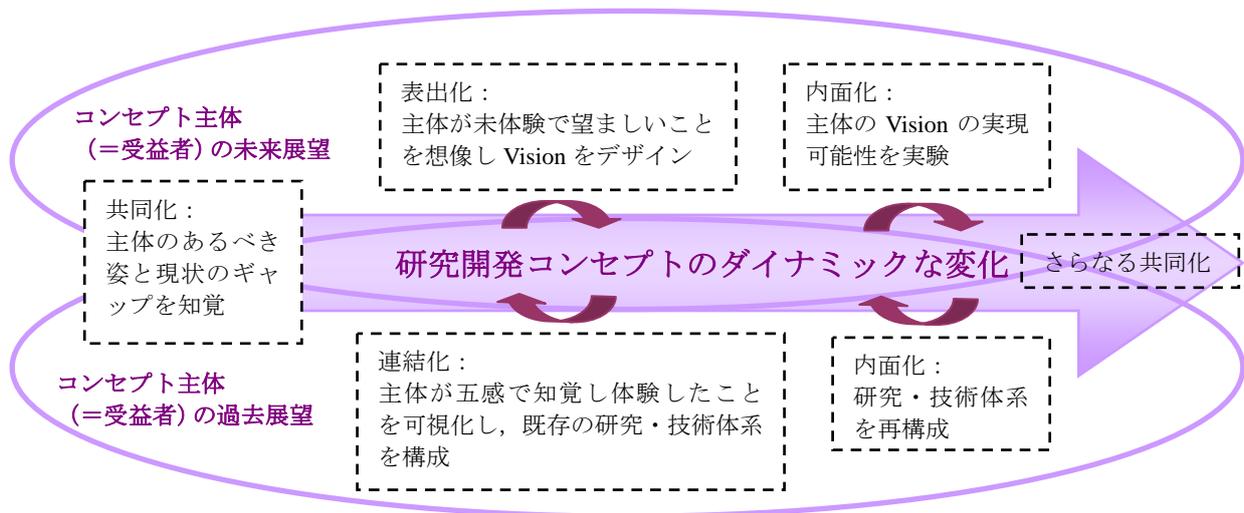
知識科学研究科・プロジェクト

代表者：遠山亮子（知識科学研究科・助教授）

●研究概要

知識創造理論（Nonaka and Takeuchi, 1995）と6眼モデル（林, 1999 ; 2001 ; 2004）にもとづき、研究開発組織においてコンセプトが創造され、そのコンセプトが組織内外に合意されるための方法論を包括的に開発することを目的として研究を行っている。研究開発組織のダイナミックなコンセプトづくりの活動におけるメンバー間のインターアクションに着目し、個々の知覚・コミュニケーション特性（Analog/Digital, 過去/未来, 主体/客体 ; 林）の違いによって生まれる反発エネルギーを活用しつつ、かつ協調的な知識創造をどのように行っていくか、という点の解明を試みる。

図. 知識創造理論と6眼モデルにもとづく研究開発コンセプト創造のダイナミック・プロセス



●研究体制

学内研究者：遠山 亮子（知識科学研究科助教授）
：藤波 努（知識科学研究科助教授）
：吉永 崇史（知識科学研究科博士後期課程）
学外協力者：野中郁次郎（一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授）

●発表論文

- 野中郁次郎・遠山亮子・紺野登「知識ベース企業理論：戦略経営のダイナミックな進化に向けて」一橋ビジネスレビュー, 52(2), pp.78-93, 2004
- Nonaka, Ikujiro and Toyama, Ryoko, "The Knowledge-creating theory revisited: knowledge creation as a synthesizing process." Knowledge Management Research & Practice, 1, pp2-10, 2003.
- Nonaka, Ikujiro and Toyama, Ryoko., "Knowledge Creation as a Synthesizing Process," in Takeuchi, Hirotaka and Nonaka, Ikujiro eds., Hitotsubashi on Knowledge Management . John Wiley & Sons, 2003